

看護理論（令和7年度は開講しません）	水田 真由美 教授
Nursing Theory	辻 あさみ 教授
1 年次後期・選択	
2 単位・30 時間	

【概要・目標】

主な看護理論の中心的概念や内容を学ぶことにより、看護の本質を探究する。さらに、卓越した看護実践の基盤となる看護理論を学修し、看護実践や研究・教育・管理への適応と課題について検討する。

【授業内容・スケジュール】

（担当）

1. オリエンテーション・看護理論入門（講義）（水田）
（看護理論とは、看護学のメタパラダイム、看護理論の変遷について）
- 2～7. 主な看護理論（講義）
 - （2. オレムのセルフケア不足理論（辻）
 3. ロイの適応モデル（水田）
 4. ベナールの看護理論（水田）
 5. レイニンガーの民族看護論（水田）
 6. ミッシェルの病気における不確かさ（辻）
 7. ペンダーのヘルスプロモーション（水田）
8. 看護理論の分析と評価（講義）（水田）
（理論のクリティークと理論の活用について）
- 9～14. 看護理論を用いての事例展開およびプレゼンテーション（演習）（水田・辻）
（学生の関心のある中範囲理論についての発表と看護実践、研究・教育・管理への適応と課題に向けての討議）
15. まとめ（演習）
（研究・実践への適応についての考察）（水田）

【評価】

出席（50%）とその都度の課題レポート（20%）&プレゼンテーション（30%）によって行う。

【テキスト】

特になし

【推薦参考図書】

J. フォーセット、太田喜久子他監訳：フォーセット看護理論の分析と評価新訂版、医学書院、2017
筒井真優美：看護理論家の業績と理論評価第2版、医学書院、2020

【その他】

連絡先：mizuta-nc@wakayama-med.ac.jp（水田）